



おおくら

E-mail ookura@sendai-c.ed.jp

校長 玉手 克彦 全校児童数17名

仙台市立大倉小学校 学校だより
平成28年7月22日 NO 6
仙台市青葉区大倉字墓前1
Tel 393-2353

協働型重点目標:『心身の健康に関心を持ち、分かる喜びを感じながら学習に取り組む児童の育成』

挑戦・読書・お手伝い

夏休みを有意義に過ごし、さらなる成長を!

今年度の大倉小学校は全校児童17名、教職員18名でスタートしました。この4か月間、子供たちは学習に運動に様々な場面で成長してきました。

学習面では、「基本的なことを大切にしながら取り組む」という姿が見られました。進んで挨拶をする、姿勢を正す、相手の目を見て話を聞く、学習準備をしっかりと行う、机や椅子など教室を整えるなど、当たり前なことを丁寧にすることができるようになってきました。今年度は、「学習の基礎・基本の定着や理解」に力を注いでいることから、さらによりよい学習習慣の形成を目指していきたいと考えます。

運動面では、何と言っても運動会での活躍があげられます。リレーや定義太鼓などの練習に熱心に取り組み、各種目で全力を尽くす姿に大きな拍手が送られました。中でも初挑戦の御神楽では、「新しい伝統をつくる」という子供たちの思いが気迫となって表れ大きな感動をよびました。毎日のマラソン 倉っ子マラソンの表彰 自己記録の更新!そして300周超え!!



さて、いよいよ子供たちが待ちに待った夏休みとなります。夏休み前朝会では、「挑戦をする」「読書をする」「お手伝いをする」の三つについて話しました。この時期だからこそできる様々なことにチャレンジし心身を鍛えるとともに、お手伝いを通し家族のために働くことの大切さを学べる機会になることを願っております。夏休みの生活につきましては学校全体、学年毎において事前指導を行いました。保護者や地域の皆様にも子供たちの生活に目を向けていただき、安全で楽しい夏休みになるようご協力をお願い申し上げます。

第1回学校評議員会・学校関係者評価委員会開催

11日(月)に今年度1回目の「学校評議員会・学校関係者評価委員会」を開催しました。各学年の授業を参観いただいた後、校長室にて平成28年度の大倉小学校の教育と協働型学校評価重点目標について、子供たちの体力向上、よりよい生活習慣の確立、そして、学力向上についての説明を行いました。ご参加いただいた学校評議員、PTA会長、社会学級運営委員長の皆様からは、「子供たち一人一人の確かな成長」「複式学級による学び合いのよさ」「先生方の丁寧な指導」などについて特に高い評価をいただきました。



協働型学校評価に基づいた授業

また、「聴いたことを人に伝える活動の工夫」「漢字の書き順など、基礎・基本の指導の徹底」「掃除の取り組み方」など、課題等についてもご意見をいただきました。今後も知・徳・体の調和を大切にしながら、教職員一丸となって教育活動を推進していきます。